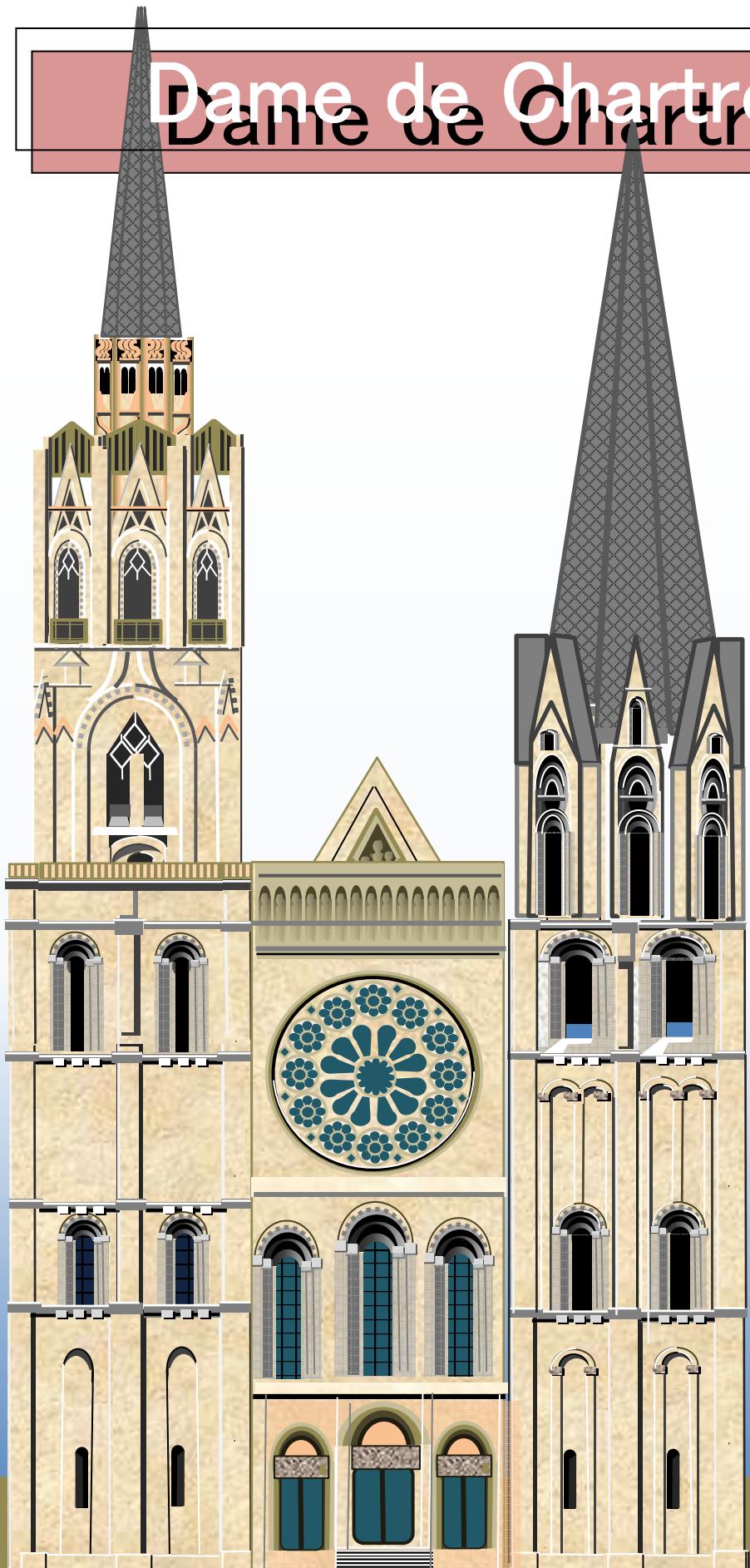




Dame de Chartres



シャルトル大聖堂

最も美しいゴシック建築の一つといわれ、世界遺産にも登録されている、フランスのシャルトルにある大聖堂。

正面の象徴的な形状の異なる2つの尖塔は、建築された年代が異なっており、低い方の塔は、初期の建築当時の1140年代より立ち続けており、高い方の塔は16世紀に建てられた。

緑色の屋根を持つ十字型の構造を持つ建物の本体は、1190年代に等の一部を残して焼失した聖堂の後を受けて建築されたもので、名称不詳の建築家から提出された設計図に基づき、フランスじゅうから集められた寄付により再建されたという。その再建に際しては、市民が協力して碎石場から自らの手で石を運んだともいわれている。

組立の前に

◆用意するもの

- ・A4サイズ画用紙(ケント紙)・はさみ・カッター・カッターマット・定規
- ・千枚通し・ボンド(クラフト用)

◆組立図の見方

太線:切取り・切込み・切抜

点線:山折り

二点鎖線:谷折り

斜線部:のり付部

交差線部:裏のり付部

◆組立の方法

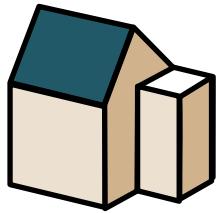
- ・型紙をA4の厚紙(画用紙やケント紙等)にプリントします。
- ・パーツを切抜、折部に定規をあて、千枚どうしの腹で折筋をつけます
- ・図に従い折、のり付します。



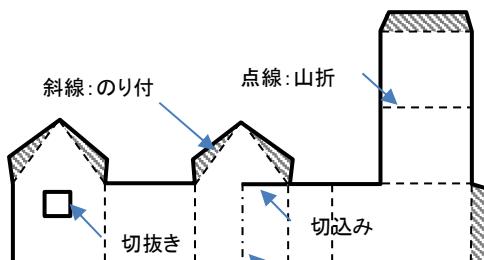
*ご注意

プリンターによって、縦横比が変化してしまうことがありますので、ご注意ください。

組立方法例



組立品例

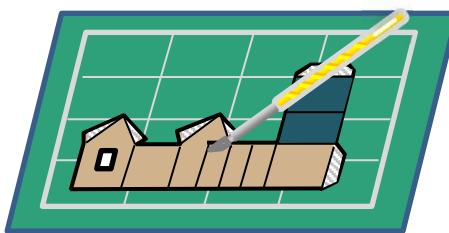


組立図例

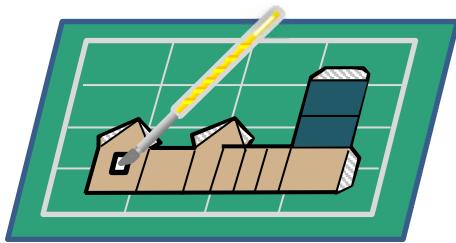
2点鎖線:谷折り



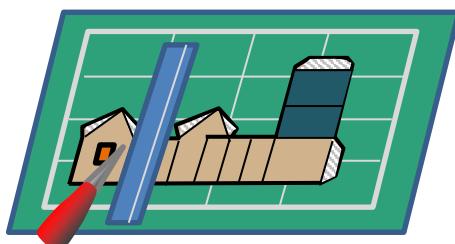
型紙からパートを切取る



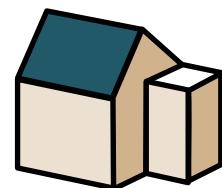
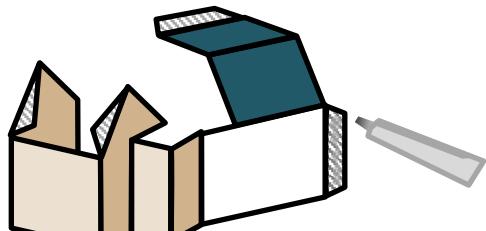
切込み部にカッターやハサミなどで切込みを入れる



切抜部をカッターで切り抜く



折部に定規をあて、目付で折り目をつけます。(山折部は表から谷折り部は裏から*1)
(山折り・谷折りは組立説明書に従



折り目を折って、立体化し、糊付け部にボンドを塗り、接着してゆきます。